

マイケルJローズ ニュースレター 2006年 秋号



光の皆さんへ

庭ではまだ金木犀の花が少しだけ咲いています。近づくとわずかに花の香りを楽しむことができます。甘い香り、子供のころや10代の思い出も詰まった甘い香りがします。いつも金木犀が咲くころに、マイケルのセミナーで家を空けるため、満開の金木犀をここ数年、見たことがありません。そんな私のために、少しだけもう1度花を咲かせてくれます。昨年もそうでした。自然界からの愛の贈り物には、とても心が豊かになります。

今年もマイケルのセミナー、リトリートが終わりました。参加して下さった皆さんとの新しい出会いと新しい再会に感謝します。マイケルはとてもオープンで愛そのものでした。今回も本当に深い学びと体験をさせてもらいました。たくさんの気づき、学びと共に、エクササイズでは言葉では表現できない素晴らしい体験をすることができました。これから日々の暮らしの中で生かされていくと思います。生かしたいと思います。

セミナー、リトリートが終わって、今特に意識していることは、これまで小さな感情と思って見過ごしてきた感情も、無視しないで感じてあげることです。自分を感じて見つめることです。そして湧いてくる想念を観察して、握り締めてきたため潜在意識に深く組み込まれている価値判断を手放して、二極の世界から抜けたいと思います。誰の中にもある、私の中にもあるパワフルなエネルギーを、葛藤や心配や恐れに使うのではなくすべて創造のエネルギーへと向けたいと思います。愛や美しさや喜びを表現するエネルギーへと。

すべて自分次第です。自由におおらかにこの人生を楽しみたいと思います。

今年の5日間のワークは最後のリトリートとなる予定でしたが、もうすでに来年から予定されている「新しい始まり(ニュービギニング)」のワークとなりました。そのワークでマイケルは、毎朝、自分がパワフルで有能で、叡智にあふれていて、美しい存在であることを、服なんか着るのはもったいないくらい美しい存在であることを宣言するようにと話しました。毎朝、4つの言葉を体の細胞中に響かせて、新しい朝の始まりにしてください。私も、毎朝、powerful(パワフルで)、capable(有能で)、intelligent(叡智にあふれていて)、beautiful(美しい存在)の4つの言葉を体の細胞全てに響かせています。これは誰にとっても真理です。よかったら皆さんも体中に響かせてください♪

真理を通してつながっている皆さんから、たくさんの愛と勇気とパワーをいただいています。いつもありがとう!!!

皆さんも、素晴らしい秋の日々をお過ごしください。

たくさん愛と感謝を込めて やすみ

マイケルの黙想 by マイケル



最愛の妻を亡くすことはたとえようのない喪失です。私は少しずつ回復しています。私には、そう感じます。しかし、家族にとって、私は思ったよりも早く立ち直りつつあるようです。おそらく、そうでしょう。しかし、内なる痛みと空虚さは外

から見えるものではありません。大切な人を亡くして苦しむ人たちは、その現実を否定しようとしています。その感覚はいいものではありません。まるで精神の一部が、実際に起きた恐ろしい現実を受け入れることが出来ない、受け入れがたい現実を受け入れるよりも、否定することで自分を守ろうとしているかのようです。

ラッセル、カトリーナ、ゼンがトレイシーと私の住む家に引っ越してきたため、毎日が大きな変化となりました。最近友人と話したときのことで、親しい肉親が亡くなったとき、1年間位は暮らしに大きな変化をもたらさない方が良く話してくれました。喪失の現実に向き合いつつ整理する時間を取るために、です。理にかなっていません。しかし、これまで人生や精神的トラウマへの関わりは、私たちがのやり方でやってきました。友人のアドバイスは多くの人に適切なものでしょうが、私たちに向いているとは限りません。

私は急速に変化しています。トリーニーが亡くなった最初の1ヶ月は突然のことに深いショックを受けていました。周囲の出来事に対する私の理解は殆んどなく、無関心でした。その頃、感情面において必要とは思わなかったのに、今は必要なものがあります。最愛の人を失うと、混乱と対立の感情が出てくると、これまで知りませんでした。

感情とは、確かに、理性からははるかにかけ離れたものだとつくづく思います。

私は、楕円形の琥珀がついた金のネックレスをよく首からかけていました。それはトリーニーからの贈り物です。トリーニーが移行してから、私は彼女の結婚指輪もその琥珀と共にネックレスにつけてもらって、首からかけていました。勿論、落下防止用の留め金もつけてもらいました。リングも琥珀も丁度私の心臓のあたりにきていました。昨日のこと、私は、ラッセル、ゼンと一緒に浜辺へ出かけました。二人が、海辺で遊んでいる間、私は30分ほど一人で散歩を楽しみました。陽が照っていて暖かく心地よい風が吹いていたせいか、たくさんの人で賑わっていました。

家に帰ってから、しばらくして私の手が胸に触れたとき、そこにいつもの感触がありませんでした。胸元を必死で捜しましたが、金のネックレスだけが残っているのです。ショックを受けましたが、不思議と平静でした。私はすでに最愛のトリーニーを失うことで学んでいました。これからは、誰にも、どんなものにも執着しません。

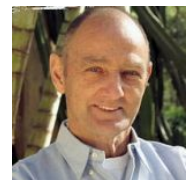
私は感情の部分でトリーニーに対する執着がこれまでありました。トリーニーがよく言っていたように「Let go, let go, let go!」(手放し)です。トリーニーへの48年間の執着を手放す選択をした後では、どんなことでも手放せます。昨夜、そのことをトリーニーに話したとき、彼女が微笑むのを感じました。「可愛そうなダーリン、手放しよ。私たちの肉体での結婚は終わったのよ。結婚指輪がなくなったことが、そのことを示しているわ。何か象徴するものを身につけたいのなら、私たちの新しい始まりを示す私のエターナルリングをネックレスに付けたらどう？」

私はそのエターナルリングをネックレスにつけてもらって首からかけています。

生命の意識の中ですべて起きたことでしょうか？ 愛と光の中で マイケル

注)エターナルリング:一般的に結婚記念日や子供が生まれた記念に夫から妻に贈られるリング。エターナルとは永遠の意味です。

質問と 洞察 by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。あなたに質問があるときは、あなた自身のより深いところにその洞察があります。それが一体性です。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台になるようデザインされています。

[質問: 老人性痴呆症や、アルツハイマー病になることに、普遍的な目的があるのでしょうか？もし、あるならですが。。。](#)

洞察: 老人性痴呆症もアルツハイマー病も、結果と言えます。そこに明白な目的はありません。しかし、どちらの病もこういった症状を表す人の意識に対して間接的に影響を与えます。(残念ながら、この病は急速に増えています。)

人生の大半を抑圧された怒りをもって生きてきた人は精神的なダメージを長期にわたって受けています。痴呆症にかかったとき、長い間の抑圧が終わり、内へ向かっていた怒りと暴力が外へ向かって表現されます。あなたが亡くなくても、人生であなたが表したすべての感情は、あなたとともにあります。

認知症は、抑圧されてきた感情を外へ向かって表現するので、感情の解き放ちを容易にします。つまり、十分に解き放つことで、その感情を持ち続けることがなくなります。そうありえます。必ずしもそうとは限りませんが…。

怒りは感情の1つに過ぎません。たくさんの感情があります。その感情がブロックされると、すべて精神的なダメージとなりえます。どんな感情も長期にわたってブロックされると(それは何世にも及ぶことがあります)、痴呆症への引き金となることがあります。自分にとって容認できる行動しかとらないのではなく、ブロックしてきた感情や情動を抑えることなく表現する、そうすることを意識が脳に許しているかのようです。

だから、痴呆症が出てくるのは、生命によって引き起こされているわけではありません。人生の生き方に原因があります。増大する心の病が示しているのは、人生に立ち向かうのではなく人生と共に絶えず成長する能力が私たちに少ないことを示しています。

ごく普通の人々が真理に直面したとしても、その人にとって真理は他人事に過ぎないでしょう。戦争が起きるとき、その戦争を起こす人たちの嘘、偽りから戦争が始まります。だから、西洋では「戦争においては、真理がまず一番に犠牲になる」とよく言われます。オーストラリア人は自分たちを生活のために悪戦苦闘する人(battler)と好んで呼びます。その人の人生が戦いという意味です。この日々の戦いが痴呆症の温床となります。戦いが、多くの人たちの日々の暮らしとなっています。大部分の人たちは、戦場で生きています。

目覚めた人が、心身を健康に保ち人生を十分に豊かに生きる方法を教えにたくさんの人が住む都会へ行っても、耳を傾けるのはそのうちの一握りでしょう。その理由は、まったくの無関心、無感動からきています。無関心、それ自体が心の崩壊の始まりとなります。

質問:最近、私は次のような経験をしました。トリーニーに「愛の爆弾」について聞いたのです。すると彼女は笑って、愛の弾丸は受け止められるでしょう?と、答えました。それから、「私は違う体(different body)の中にいるのよ」と話しました。マイケル、この違う体ってわかりますか?それは何ですか?光の体、アストラル体、メンタル体、感情体、魂の体、それから肉体。

こういった体も肉体と同様に本物ではないのですか?

洞察: 本物とは何でしょう?あなたの言ういろいろな体を持って私たちが使っている間、それは本物です。私がひどく恋しく思っているのはアイデンティティを持った肉体のトリーニーです。多分、もっとわかりやすい言葉は、「一時的な体」でしょう。本物ですが、永遠ではありません。日本の神道では、自然の中に永遠なるものは何もないと信じています。全てが一時的で、絶えず変化しています。それは、私たちも同じです!

私たちは肉体をかなり支配しています。肉体を殺すことも、愛と思いやりをもって、肉体に接することもできます。エネルギーの波動を高めることもできますし、低くすることもできます。こういった波動の高さは何よりも思考によって決まります。生命は私たちの思考に従います。否定的で、攻撃的な思考をするなら、攻撃にさらされたネガティブな体の状態を引き寄せます。私たちがその攻撃者となります。これは無論、自分の全体的な波動を下げることとなります。その反対も真実です。エネルギーの波動を高めることもできるのです。

肉体から光の体への私たちの移行にも同じことが言えます。トリーニーは大変進化し覚醒した魂です。彼女が移行するとき、彼女には何が起きているのか十分に分かっていたし、彼女のコントロール下にありました。そして、彼女は意識を光の体に移しました。今彼女の意識は急速に広がっているので、光の体は、さらに微細になり、輝きを増して、放射しています。移行を経験した多くの人よりもはるかに容易に移行しました。彼女のその移行は大いなる愛からの意識的な選択でした。とてもまれなことです。その対極にある選択は、絶望と恐れからの自殺です。

質問:大いなるセルフと魂の違いは何でしょう?セルフの目的と魂の目的との違いは何ですか?

洞察:セルフとは本当のあなたです。真髓のセルフです。本当のあなたであるセルフは魂を通してセルフを表現します。絶えず人生のサイクルの中で生まれ変わるのはその魂です。大いなるセルフに目覚める、覚醒するまで、ずっと、です。そうすると輪廻転生は終わります。終わりと書きましたが、実際は、大いなるセルフと魂はより高いレベルでの表現へと進みます。

大いなるセルフはアイデンティティを、つまり自分であると見なしている個人としての自己を通して魂を表現します。しかし、魂の発達を通して、セルフは意識において成長し広がります。明らかに矛盾しているように思われます。しかし、真理はいつも両刃の剣なのです。そのためセルフの目的は意識において成長することであり、魂の目的も意識において成長することです。

あなたであるセルフは広大です。あなたである魂はすでにあなたである広大さへ向かって成長しています。さらなる逆説です。あなたであるアイデンティティの成長がセルフの、魂の、自分の目的なのです。

つまり、どういうことでしょうか?

あなたを尊重することです。

あなたを大切に生きることです。

あなたには幸せと喜びを生きる権利があります。

あなたが生きている人生は、あなたが創造した現実です。

つまり、あなたがあなたの人生の創造者です。

全ての生命と一つです。

あなたはあなたが思っているよりも、はるかに、はるかに素晴らしい存在ということです!

トリーニーの思い出



素晴らしい存在について書きます。彼女が自分の人生を初めて語ってくれたのはあるリトリートの午後でした。彼女はそれまで、いつも後ろに座ってマイケルが時間通りに終わるようチェックしたり、話に出てくる名前や場所を彼に伝えたりするだけでした。

初めてだったので彼女は緊張して立っていましたが、数秒後には話し始めました。私は皆が座っている椅子の後ろに立っていました。彼女は話終えてから、私たちが素晴らしい存在であると宣言し、聖母マリアのように両腕を広げて、そこにいる人たち1人1人の目を見つめていきました。彼女の目が私と合ったときです。その瞬間、彼女のハートから出た愛の大砲が私のハートに打ち込まれたようで、私はその場に座り込みそうになりました。

すべてが終わったとき、私はハグをしたくて急いで彼女のところへ行きました。そのときです。参加者の誰もが、若い人も年配の人も、男性も、女性も、誰もが泣いていることに気づきました。

「あのよう素晴らしい愛を感じたのは、初めてのことでした」と、後で参加した人が話してくれました。

by Paz Luca de Tena from South Africa

* * * * *

……もう一つトリーニーから教えてもらった特別な不思議は、存在するだけで十分であるということでした。何もする必要はなく私であるだけで十分なのです。本を書く必要もないし、何かで有名になる必要もありません。たとえ有名であったとしても本当に人生を、あるいは世界を変化させるにはハートから生きること、愛あるところから生きること、

それで十分なのです。

トリーニーはそうのように生きました。彼女がどう生きてきたかを私は聞きました。それは大変シンプルなことでした。彼女は家事をし、友人や家族を楽しませました。日々の1つ1つの仕事を楽しんでいました。彼女はマイケルのすばらしい支えでした。

そして、世界中に愛の爆弾を落としました。全てのことに彼女はいつも彼女らしく、不思議で愛あふれる人でした。道を示してくださってありがとう、トリーニー！！
by Katrina Roads Australia

* * * * *

キャロリンからトリーニーの突然の死を知らせるメールを受け取ったとき、私は伝統的なチベット仏教の5日間に及ぶ瞑想コースを受けに行く直前でした。あらゆる瞑想は「何であれ来る必要のあるものは、拒まず、与えられるものは、与えてもらい、取り去られるものは、取り去ってもらう。そうすることであなたの本質に気づいていく」という練習です。

トリーニーの追悼式の朝にこの瞑想の意味が始めて分かりました。私はその日の朝、ずっとめそめそしながら、マイケルとトリーニーのことを考えていました。二人の生命への絶えざる気づき、学びへの献身、同様に他の人たちを目覚めへと手助けすることへの二人の献身に思いをめぐらせていました。

すると悲しみの中で、何か美しいことが私の中で起こりました。生涯のスピリチュアルなパートナーが現れない一番大きな障害は、心から愛する男性を失うことに対する私の恐れだと気づいたのです。この痛みを避けるために、本当の献身的な愛とつながりを私は避けていたのです。

この悲しみと気づきの間に、私は母性からの励ましと癒しを経験しました。トリーニーが私に与えてくれた素晴らしい宝物の一つです。彼女は、喪失と痛みへの先走った恐れに対する無力感から私を解放してくれました。

二人に対する私の愛、感謝と尊敬の気持ちは広大で無限です。二人が差し出してくれた大いなるセルフへの深い発見と癒しは私の中の核となっています。そして、最愛の人との肉体を超えた果てることのない統合へと向かうマイケルの勇気に、私は力づけられ、励まされています。

by Cecily Miller California

* * * * *

・・・彼女が選択したことです。無条件の愛を表現するタイミングであると。個人的なレベルで起きたことを考えると残念ですが、より大きな視野から見ると、トリーニーが何千倍もになって私たちのところへ戻ってきたように感じます。彼女の愛と光をこれまで以上に自由に放射できるのですから。私たちはオランダのリトリートセンターでトリーニーの人生に対する祝祭を催しました・・・たくさんの友人と一緒にトリーニーとマイケル、二人につながりました。その愛と静寂の瞬間に、これこそ新しい始まりであり、この新しい始まりは、私たちが変容する手助けをしていると感じました・・・チャレンジではありますが、確かな贈り物です。

トリーニーがこれまで教えてくれたことに感謝します。そして、大いなる愛の存在としてまだ教え続けてくれていることに感謝します。
by Jeanine Weterings Holland

オフィス便り by トレーシー・ローズ



このコラムを書くのは私にとってまったく新しい経験です。私はこれまで自分の気持ちを他人に伝えることは、あまり上手ではありませんでした。今回、父の書いた「マイケルの黙想」をコンピューターで読んでいるとき、母が書いていた「マイ・セイ」をいつも楽しく読んでいたことを思い出しました。母は、日々の暮らし、私たちの家庭について、とても美しく描写していました。父が女性の目から見る事が出来ないのも、私が女性の目から何か書くことに決めました。

多くの方は、私の兄であるラッセル、その妻のカトリーナ、息子のゼンが、我が家に引っ越してきたことを知っていると思います。そのため、家族構成の変化に伴う部屋変えとか、変化への適応が、物質面でも、精神面でも必要になります。以前は、父と母と私の3人だったところへ、幼児を連れた家族が増えたのです。この引越は私たちにとって、チャレンジと言えます。しかし、ローズウェイ精神でもってやり通すことでしょ。

この変化の時期に、私たちはさらなる混沌を求めて3匹の子猫も飼うことにしました。彼らは、私たちを癒してくれています。ゼンと一緒にいる子猫達の様子を見ると可笑しくなります。ゼンがどんな風に猫を持ち上げてもうかなり荒々しいので見かねるところがあるのですがー彼らは、大人しくゼンのやり方を受け入れています。

2週間も経つと、彼らは急いで逃走するか、自分で安全と思えるところへ隠れるようになりました。それでもゼンは彼流ですが抱きたいときは、猫を見つけてつかまえます。ゼンは、今、ペットが喜びとすることを学んでいます。彼が優しくすることを学んだとき、猫たちもゼンと一緒にいても幸せになるでしょう。オス猫のラッキーは、去勢したばかりなので、休息しようとしていますが、ゼンは気にもかけないので、苦労しています。

ラッセルは、この1週間ほど庭の木々や植物の根を腐敗した葉や木の皮で覆いました。乾燥した気候から土壌を保護することができるし、大雨が来たら、湿気を保つことにもなります。

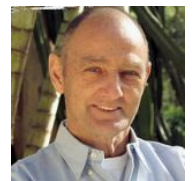
前の文章まで書いてから、数週間経ちました。もう1匹のオス猫も去勢手術を受けました。彼の胃は麻酔剤にひどく反応してしまいましたが。ゼンは猫への接し方がかなり上手になりました。それに、猫たちも前より早く逃げることができるようになっていました。

私の兄のパートナーであるレイチェルと彼女の息子のトーマスが最近遊びに来ました。レイチェルはこの天候に少しがっかりしていました。彼らが着く1週間前は晴天で暑かったのに、彼らがいる間、曇りの日々で寒くプールで泳ぐことができなかつたからです。

もうすでにご存知の方たちもいますが、私はオーストラリア野生動物病院でボランティアをしています。それで、クロコダイルハンターで有名なスティーブ・アーウィンが亡くなったときは大きなショックを受けました。悲しいことですが、彼の志は引き継がれています。

もう一つお知らせです。ラッセル、カトリーナとゼンが引っ越してきたとき、私たちは、変化にともなう感情的な側面についてすっかり忘れていました。カトリーナはラッセルとゼンの3人の暮らしを懐かしく感じていることに気づきました、正直に言うと、父と私もラッセル一家が最近2週間ほど留守だったときに、平安と静かさを楽しみました。それで、ラッセル、カトリーナとゼンは再び引っ越すことになりました。父と私と猫3匹の暮らしがもうすぐ始まります。

意識のコラム by マイケル



殆どの方がご存知のように、私は、自分の人生で最悪の時期を経験しています。49歳になるまでの肉体的な痛みよりも、もっとひどい痛みがあります。肉体的な痛み、それは単に肉体的なものです。感情からの痛みは内側深くにあります。だから、本質的なセルフから切り離すことがずっと難しいのです。肉体的な痛みがあるとき、痛みがあるのは自分自身ではなく体であることが分かっています。

私たちの感情的な痛みに対する心の準備となるようなものは何もないようです。子供時代の肉体的な痛みは、肉体的な痛みに対する心の準備となります。私たちは肉体的な痛みがどんなものであるか知っています。しかし、大人になる過程での感情から来るトラウマが、大人になって経験する深刻な感情的トラウマのための準備となることはまったくありません。

トリーニーの突然の旅立ちから数週間の間、私は何とか立ち直ろうとしました。思いもかけない出来事に、私は本当に参りました。私は彼女に「明日一番に会いに来るよ」と言ったのに、翌日の早朝に彼女は死んだのです。

私は、ここで意識して死という言葉を使っています。無論、「死」を、あるいは「死んだ状態」を信じてはいません。私たちは不滅の大いなる存在です。しかし、アイデンティティをもった一人の人間としてのトリーニーは死んで、私の人生からいなくなりました。トリーニーの大きな額に入れられた写真をしばらく見ているだけで涙が出てきます。それが私に残された美しいトリーニーの姿です。素晴らしい肉体の存在としての妻はもういません。もうこの地上には肉体として存在していないのです。彼女の体は火葬されました。もうなくなったのです。そのことに苦しみました。

誰もが、「時間が解決する」と言います。私もそう思いますし、すでにそう感じています。私は、私たちは、家族は、たくさんのカードやメール、花束をいただきました。感謝しています。私にはサポートが必要でしたから、心から感謝します。トリーニーは花を愛しました。お別れの会でのたくさんの花束に彼女は本当に喜んでいました。トリーニーによると、光の存在としての彼女は素晴らしい彼女への謝辞、賛辞を葬儀場であるチャペルの後ろの方に立って聞いていたということです。彼女の棺のすぐ近くには、最前列にいる家族の感情的なエネルギーの近くにはいることができなかったのです。

皆さんの手紙もメールもとても思いやりがあって愛に溢れていました。しかし、その手紙やメールからあることに気づきました。これは、単に私の観察です。評価しているわけではないので決して個人的なものとして受け取らないようにしてください。

生涯のパートナーがいない人たちは、思いやりというよりは、この機会が私にとってワクワクする時期であることに焦点をあてていました。そこに、意識における大きな跳躍の可能性を見ていました。この見方に対して私もよく分かりますし、その通りです。

一方、長い間、愛ある関係や結婚を続けている人たちには深い共鳴がありました。愛する人を失うという経験は、彼らも恐れている喪失であることをわかっていて、あるいは、彼ら自身も経験したことなので、深く共感し、思いやりといたわりを表していました。

両方の見解ともに、人々にとって大切な人生や経験を反映しています。

私はといえば経験している今の出来事をそれまでひどく恐れていました。深く愛し合っているカップルのどちらかが深い感情的な喪失感をいずれ経験する、そのことに思いをはせると考えさせられます。友人の一人が、両親を交通事故で亡くしました。二人とも数時間差で亡くなりました。素敵な手はずです。トリーニーと私は、いつも一緒に死にたいなど話していました。しかし、そうはなりませんでした。

トリーニーの移行についてはたくさん書くことがありますが、来年の「A NEW BEGINNING」のときに話します。多くの点で、私は恵まれています。トリーニーと私は、48年間素晴らしい、創造的な日々を共に過ごしました。大変祝福されています。私は素晴らしい大いなる存在に深く愛されてきました。彼女はこれからもずっと私を愛し続けることがわかりました。今もお互いに交信できることでも祝福されています。幻想のゲームを演じる必要もありません。私が現在焦点をあてているのは、こういった祝福に対してです。この祝福はまだ私の人生にあります。真理において、物質的、感情的な側面のトリーニー、アイデンティティを除けば、全ては私と共にあります。このことに気づいていなければなりません。

彼女は素晴らしい肉体を超えた多次元の光の存在であり続けます。私たちの結婚が続けられるのはこのレベルにおいてです。これは、やりがいのあることです。私のフォーカスが必要とされます。意識的であること、オープンであること、過去の思い出や切望に生きるのではなく、この瞬間に生きることが要求されます。この人生ではもう肉体を持たない美しい大いなる存在を愛することが必要です。

このことは、終わりを求めるのではなく、新しいオープンさを求め、私たちの結婚をより高いレベルへと上げることを意味します。全て、私次第です。それは厳粛なことですが、ワクワクするものでもあります。トリーニーの光の存在への移行は私の思いやり、慈愛を深めました。

たとえば、ジミーが一人で暮らしたいと言ってキャロリン・シルバー(ジミーとキャロリンは夫婦です)の元を去った時のことです。トリーニーも私も彼女の気持ちに深く共感しましたが、私たちは彼の決定を尊重もしました。しかし、キャロリンは彼が決めたことの犠牲となって、打ちのめされました。今、ようやく私は彼女が経験したことが実際に分かります。もう、概念でもなく、可愛そうなキャロリンといった他人事の気持ちではありません。彼女は今私が経験している喪

失を経験しました。彼女は、感情からくる悲しみを私よりも長く経験しました—私たち二人とも、感情的な人間です—しかし、彼女が犠牲者であることをやめた瞬間に、彼女は自分の人生を取り戻し始めました。そして、取り戻しました。

「彼女の場合は死の悲しみではなかった」と、言う人がいるかもしれませんが、彼女にとってはそうでした。彼女の結婚の終わり、ロマンティックな夢の終わり、二人の親密な関係の終わり・・・私はその全てを失いました。同じような状況にある人たちがそうであるように、彼女も全てを失いました。

彼女にとってさらに辛いことだと思われること、それは日々、これまで一緒に生きてきて、まだ愛し続ける人の姿がそこにあることです。もはや、これまでのように、親しみをもって自分を愛してくれない人を・・・肉体を持ったトリーニーを見ることはありませんが、少なくとも私は、彼女によって愛されていることを知っています。スピリチュアルなレベルにおいてさらに深く、です。アイデンティティとしてはありませんが、彼女はまだ私の人生にいます。カづけられることです。

私は、キャロリンが経験したこととよく似たチャレンジに直面しています。今、物質的な結婚という殻は大きく開かれ、その中から核を取り出さなければなりません。私から結婚を奪われたというよりは、トリーニーがさらなる成長への素晴らしい贈り物を開けるよう私に差し出したのです。その贈り物の包みの中で、自分を見失うのではなく、包みを開いて開花させなければなりません。

その贈り物とはより偉大な現実です。しかし、3次元ではいつもそうであるように、分厚い幻想という層に覆われています。いつも、いつも、あらゆる状況において、幻想という偽りを越えて、真理を見出さなければなりません。幻想は、物質的にだけでなく感情的にも私たちを罠にかけます。

キャロリンは一人で自分のパワーを取り戻しました。これはジミーからの贈り物でした。彼が意識してそうしたのかどうかは、たいしたことではありません。彼は、キャロリンに贈り物を差し出したのです。彼女が幻想への感情的な束縛を解いて自由になったとき、彼女は自分を成長させ続ける贈り物を受け入れたのです。

トリーニーは私に意識して贈り物を差し出しました。彼女の旅立ちには偶然でもなく、不運な出来事でもなく、肉体による裏切りでもありません。アイデンティティセルフではなく、魂の大いなるセルフによって意識的に計画されたことであり、首尾よく実行されました。キャロリン同様、私もその贈り物を欲しくありませんでした。感情的な囚われを素早く解いて—感情を決して否定しないで—私はその贈り物を受け取っていますし、これからもそうします。

私は成長し、その私を、他の人たちに分かちます。私はトリーニーからの贈り物を育て、そして、その準備が出来ている人たちにその贈り物を分かちます。そのため、私はリトリートを終わりにしました。リトリートでは、参加者とスピリチュアルな真理を分かち合ってきました。とても成功したと思います。しかし、それはある一定のやり方へと私を縛っていました。これまでのリトリートがとても良かったことは明らかです。これまで何度もリトリートに参加していた3名が目覚めていたことを知りました。トリーニーだったら、「彼らは51%を越えたのよ」と言うでしょう。これは、私たち二人への素晴らしい贈り物です。トリーニーはこのことを知っています。それは彼女にとって大きな喜びです。

2006年が、最後のリトリートツアーになる予定だったことは、偶然でしょうか？私たち二人は、新しいものがどんなものであるか確かではありませんでしたが、今年が最後のリトリートになることを知っていました。強く感じていたことです。そして、証明されました。私が、予期していたこと、望んでいたこととはかけ離れた方法でしたが・・・。

リトリートは大変素晴らしいものですが、どれほど素晴らしくても、いずれそれは制限となります。私はその方式から抜け出しました。瞬間、瞬間とともにいて、その場で起きてくること、タイミングと意識がふさわしいと出してくるものほどどんなことでも受け入れます。

それでは、私の話すことはすべて新しいことでしょうか？勿論、そんなことはありません。このことが意味することは、真理を示す好機への通路がたくさんあるということです。

ニュービギニングはきっと楽しいものとなるでしょう。お元気で・・・この瞬間にあなたを大切にしてください。あなたがいるのは、この瞬間だから。

愛と光の中で マイケル

妖精の輪・・マイケルにちなんだ物語

by Laurie Kaldor-Bull Australia



最近のお話ですが、美しい陽の当たる庭に、強くて優しい男性と優しく強い女性が住んでいました。彼らは何年も共に生きて愛し合っていました。そして、長年、多くの人が気づき始めるよう愛と真理を広げていました。この二人の光の存在の間には完全なバランスがありました。彼らの結びつきからは計り知れない祝福がありました。

彼らに出会うという幸運に浴した人たちは、二人の関係を尊敬と感謝で見っていました。彼らは感謝と尊重をよく知っていました。そして、愛と喜びをもって生きてきました。

男性のほうがよく話しました。そして、彼の最愛の人がいずれいなくなるという心配をよく口にしていました。もし、そのようなことが起きれば、彼女なしでさらに彼の旅を続ける気持ちを持てるか彼には定かではありませんでした。

女性はとても知恵がありました。そして、彼のことをよく分かっていたので、できる限りの間、彼とともにいました。しかし、ある日、完全なタイミングで彼女は旅立ちました。今が、行くべきときであり、彼は深く傷つくけれども、彼女の移行で彼が大きく成長することを彼女は知っていました。

「時間のない領域」(マイケル著 翻訳中)で、彼女は彼に話しました。「私の直感では今回の経験はすべてあなたのためであり、私はあなたをサポートするためにここにいるのよ・・・しばらくの間」

愛しい女性はもう肉体としては彼のそばにいません。しかし、彼女はまだ彼のそばにいます。

悲しみが小さくなってくると、その二人は再びそのつながりを深めます。そのつながりは続いていくけれども新しいものです。二人の関係は、壊れていません、というよりは、新たな結びつきが始まっています。男性にとってこのことが心地よいものになるにはしばらく時間がかかりますが、彼女が手助けします。

男性は大変知恵があります。彼は以前語りました。「深い絶望は、気づかないけれど素晴らしい勝利の歌である。なぜなら、自己欺瞞という繭の中で可能性の翼を強めるから。絶望の中から真理が現れるのです」

男性は強烈な一撃をくらいました。しかし、打ちのめされることはないでしょう。彼は、旅を続けます。最愛の人と創造し、分かち合った人生を尊重するでしょう。

素晴らしい妖精の輪は成長し続けるのです。